



やまぶき

一関市立大原小学校 校報 No. 25

2026.9.15 文責：校長 松田

宿泊学習(5年)

5年生は、9月9日(水)・10日(木)の2日間、県立野外活動センターにて宿泊学習を行いました。

いかだ体験では、竹を井桁に組み、紐でしっかり結び、タイヤチューブ等を取り付けながら、力を合わせていかだを完成させました。一人では難しい作業も、友達と声を掛け合い、協力して取り組む姿が見られました。完成したいかだで海へ漕ぎ出すと、子供たちの笑顔と元気な歓声が広がりました。

夜は、天候や活動場所の状況を考慮し、キャンプファイヤーからペンライトの集いに変更し行いました。ペンライトの柔らかな光に包まれる中、出し物やフォークダンスを楽しみ、仲間と過ごす特別な時間となりました。

フォトフレームづくりでは、自然の素材を生かし、一人一人が工夫を凝らした世界に一つだけの作品を完成させました。完成した作品には、それぞれの個性が表れ、満足そうな表情がたくさん見られました。

野外炊事では、材料を切る人、火の準備をする人など、班で役割を分担してカレー作りに取り組みました。自分たちで協力して作ったカレーは格別だったようで、笑顔で味わう姿が見られました。

2日間を通して、子供たちは友達のよさに気付き、助け合うことや自分の役割を果たすことの大切さを学びました。

保護者の皆様には、事前のご準備等にご協力いただき、誠にありがとうございました。



たたら製鉄体験(6年)

9月11日(金)、6年生は、ホッパの会をはじめ地域の皆様のご指導とご協力のもと、1学期に自分たちで集めた砂鉄を使い、「たたら製鉄」に挑戦しました。

砂鉄と木炭をたたら炉に入れ、火加減に気を配りながら鉄をつくる作業は、時間と手間を要するものでした。子供たちは、砂鉄から鉄が生まれる様子を目の当たりにし、驚きと感動を深めていました。

今回の体験を通して、鉄づくりの難しさとともに、内野地区に受け継がれてきた伝統技術の素晴らしさを学びました。完成した鉄は、今後、卒業記念品の文鎮として加工される予定です。

ご支援くださった皆様に、心より感謝申し上げます。



敬老会(1~3年)

9月13日(日)、1~3年生は大原地区の敬老会に参加しました。子供たちは、運動会でも披露した「好きすぎて滅」のダンスや校歌を発表し、日頃の感謝の気持ちを込めたメッセージを届けました。

ダンスの発表前には、会場の皆さんにも振り付けを覚えていただき、子供たちと一緒に楽しく踊りました。子供たちが元気いっぱい踊る姿に、会場には笑顔が広がり、温かな拍手が送られました。校歌は、大原出身の方のギターに合わせて会場の皆さんと歌い、心の通い合うひとときとなりました。地域の皆さんとふれ合い、感謝を伝える貴重な機会となりました。

当日は、保護者の皆様へ送迎のご協力をいただき、誠にありがとうございました。

